

報告者： つるぎ高校 黒田紘平

報告日： 令和8年3月23日(月)

1. 簿記研究部報告：将来の運営方針

- 次年度 全国簿記競技大会の実施概要
 - 開催日時：令和8年7月24日（金）
 - 開催会場：千葉商科大学
- 次年度 簿記実務検定試験 道府県代表作問委員
 - 秋田県、福井県、徳島県、福岡県の4県が担当
- 誤答数調査 担当校（県）
 - 宮城県、秋田県、山梨県、東京都、福井県、兵庫県、岡山県、徳島県、福岡県、鹿児島県

2. 簿記2級（CBT方式）の問題仕様および運用

- 試験問題の構成とシステム改修
 - 第1問：仕訳問題
 - 第2問：商品販売取引（現金・当座預金出納帳、売上帳、仕入帳等）
 - 元帳の摘要欄について、2級ではプルダウン選択方式を導入
 - 第4問：伝票問題において、クリックによる背景色変化（グレー）機能を搭載。集計漏れ防止を図る
 - 第5問：精算表、本支店合併の損益計算書・貸借対照表
- 今後の運用予定
 - 難易度・作業量に配慮した作問を行い、公開版問題を全商協会 HP に掲載後、各都道府県へ通知する

3. 令和8年度 簿記実務検定試験 出題範囲の改訂

- 原価計算の範囲変更
 - 1級：部門別・製品別計算における「公式法変動予算」を削除
- 実務動向に伴う出題見送り（手形・小切手）
 - 2027年3月末の紙の手形・小切手廃止を受け、当面の間、小切手および約束手形の振出・受取・譲渡に関する出題を見送る
 - **【注意】** 検定外となっても、授業での取り扱いは継続すること

4. 令和8年度 財務諸表分析検定 試験範囲の改訂

- 改訂の背景と目的
 - 過去問用語と教科書用語の不一致解消、および社会情勢・実務の変化への対応
- 改訂の主要ポイント
 - 用語の統合：教科書名称への統一（相違時は括弧書き併記）
 - 手法の追加：実務動向を踏まえた補足を加えるが、基本枠組みは維持
- 留意事項
 - 実在企業データ活用の際、未掲載科目は注釈や計算方法を明示し受験生に配慮する

5. 全商協会事務局からの通知事項

- システム・事務手続き
 - 新 Web システムの課題改善、振込コード未記載防止（コンビニ・ペイジー推奨）
 - CBT 期間の統一：受験料照合（消込）の円滑化のため、協会規定の約2ヶ月間に試験実施期間を統一

- **検定試験の新規 CBT 化・運用**
 - ビジネス文書（速度部門）：令和 8 年 1 1 月より。問題は紙配布、回答は CBT 方式
 - 不具合対策：ブラウザを最新版に更新すること。通信負荷軽減のため、時差実施（班分け）を推奨
- **合格認定ルールの変更**
 - 部門合格による級確定：次年度から 2 年度以内
 - 科目合格による級確定：次年度から 3 年度以内（過去の合格者にも適用）
- **行事日程の変更**
 - 英語検定：令和 9 年度より 7 月第 3 日曜日に変更
 - 英語スピーチコンテスト：令和 8 年度は宿泊代高騰回避のため、9 月 1 3 日に実施
- **採点システムの利用**
 - システム使用時は「1 名の採点」とカウント。印刷時は記号が回答に重ならないよう目視で確認すること